

Well-being(幸福)な 社会に貢献する ヘルスプロモーション ～持続可能で公正な社会を目指して～

「Well-being(幸福)な社会」とは、生態系の限界を超えることなく、将来の世代にも公正な健康を提供される社会です。しかし、現実にはWHO(世界保健機関)も指摘するように、世界は貧困、戦争、気候危機などの危機に直面し、パンデミックは社会の断絶を露呈させ、健康格差を拡大させています。こうした危機に直面して、WHOは「Well-beingのためのジュネーブ憲章(2021年)」を提起しました。

今回のカンファレンスでは、Well-being(幸福)な社会を実現するためにヘルスプロモーションを通してヘルスサービスがどのように貢献できるかを議論します。基調講演ではオタワ憲章の起草を担ったイローナ・キックブッシュ氏とジュネーブ憲章の起草の中心を担ったWHOのリュディガー・クレッチ氏による、ジュネーブ憲章の解説も予定しています。ヘルスプロモーションに関心のある皆さんの多数のご参加をお待ちしています。

日時

2023年
11月11日 土

13:00~17:40

11月12日 日

9:00~13:00

場所

**有明セントラルタワー
ホール&カンファレンス**
(東京都江東区有明3-7-18)

当日は会場のみでの開催。後日一部企画のオンデマンド配信を予定。

参加費

第2報にてお知らせします

参加申込
開始

2023年9月1日(金)10:00予定
参加の申込みはこちらから →



企画概要(案) ※変更する場合があります

1日目

2023年11月11日 土 13:00~17:40 11日の昼食・夕食は各自でご準備ください。

◆基調講演1「健康格差社会への処方箋～メゾ、マクロレベルのアドボカシー～」

講師:近藤 克則氏(千葉大学予防医学センター教授)

◆基調講演2「Well-beingのためのジュネーブ憲章について」(動画・字幕あり)

講師:イローナ・キックブッシュ氏(国際開発研究大学院グローバルヘルスセンター長・ドイツ)

リュディガー・クレッチ氏(WHOヘルスプロモーション局長・ドイツ)

◆ポスターセッション 詳細は第2報でお知らせします

2日目

2023年11月12日 日 9:00~13:00

◆特別講演「ヘルスプロモーションの歴史と日本における今後の課題と期待」

講師:島内 憲夫(日本HPHネットワークCEO)

◆教育講演とSGD「気候正義とヘルスプロモーションの役割」

◆WS WS1「明日からできる地域診断 ～医療機関を起点として地域を健康にする～」

WS2「社会的処方実践のヒントを見つけよう」

WS3「世界の各地で起きている戦争、紛争下における難民の健康状態、

医療状況などを知り、我々にどのような支援ができるのか考える」

